

第13卷 第1号 (通巻第23号) 2024年7月発行

ISSN 2187-0292

埼玉透析医学会 会誌

Journal of the Saitama Society for Dialysis Therapy

Volume 13, Number 1

2024

特集

第15回 埼玉アクセス研究会 学術集会
プログラム・抄録集

第51回 埼玉透析医学会 PROCEEDINGS-2023



埼玉透析医学会

<http://www.ssdt.jp/>

埼玉透析医学会 会誌

Journal of the Saitama Society for Dialysis Therapy

Volume 13, Number 1

2024

特集

第15回 埼玉アクセス研究会 学術集会
プログラム・抄録集

第51回 埼玉透析医学会 PROCEEDINGS-2023

埼玉透析医学会

<http://www.ssdt.jp/>

INDEX

巻 頭 言	1
-------------	---

第15回埼玉アクセス研究会 学術集会 プログラム・抄録集

会場案内図・会場見取図	5
-------------------	---

参加者へのご案内とお願い	6
--------------------	---

発表論文原稿執筆要項について	9
----------------------	---

プログラム	11
-------------	----

抄 録

特別講演	16
------------	----

シンポジウム I	18
----------------	----

シンポジウム II	24
-----------------	----

一般演題	30
------------	----

世話人会一覧	34
--------------	----

協賛企業一覧	35
--------------	----

第51回埼玉透析医学会学術集会 PROCEEDINGS-2023

proceedings 目次	39
----------------------	----

一般演題	40
------------	----

学術集会開催記録	65
----------------	----

2024年施設名簿	66
-----------------	----

埼玉透析医学会会則	68
-----------------	----

埼玉透析医学会 役員	70
------------------	----

次回開催のご案内

第52回 埼玉透析医学会学術集会・総会

会 期：2024年12月8日（日）

会 場：大宮ソニックシティーホール 4F 国際会議室
〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1丁目7-5
TEL：048-647-4111

大会長：森下 義幸（自治医科大学附属さいたま医療センター
腎臓内科教授）

会 長：岡田 浩一（埼玉医科大学病院 腎臓内科教授）

演題申し込み方法：オンラインによる演題受付とします。
詳細は後日アップされる埼玉透析医学会
HPをご覧ください。

募集期間：2024年8月1日 ～ 9月30日

事務局：埼玉医科大学病院 腎臓内科
代表 友利 浩司
〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38
TEL：049-276-1611
FAX：049-295-7338
E-mail：jinnai@saitama-med.ac.jp

巻 頭 言

CKD 診療における移行医療



埼玉透析医学会 会長

岡田 浩一

移行医療という言葉をご存じでしょうか？移行期医療とも呼ばれますが、その定義をわかりやすく説明すると、ここでいう移行とは、生涯を通して医療を必要とする小児慢性疾患患者が、小児専門の診療科から成人専門の診療科へ転科するプロセスのことで、移行医療とはそのプロセスを円滑に進めるための（医療行為そのものに限定されない）包括的なサポートとなります。小児と成人の境となる年齢は16歳なので、思春期から青年期（AYA 世代）の身体的にも未成熟で精神的にも不安定な世代の診療責任者の引継ぎなので、両親との関わりを含めていろいろとデリケートな問題があります。無理をして小児科から成人診療科に転科させる必要がないと考えている小児科医師もいますし、これまで通りに小児科でのケアを希望される患者・家族もいます。ただ小児診療科から成人診療科への転科は、自らの病気に自分自身で向き合う自己管理能力の育成、そして就学や就職に際しての自立を促すことになり、また入院が必要な際や、成人病および妊娠・出産の問題にも適切な対処が可能となることから推奨されています。小児慢性疾患の内でも、CKDはこの移行医療の必要性が広く認識されている代表的な疾患の一つですが、移行医療が制度として確立されている欧米に比較して、残念ながら日本ではAYA世代のCKD診療は小児科と内科という縦割り制度のはざままで不確かな状況にあります。

そして実はCKD診療にはもう一つの移行があります。保存期CKDを管理してきた腎臓内科から維持透析を管理する透析科への転科です。AYA世代ほど精神的に未成熟な患者は少ないとは言うものの、腎代替療法の導入は人生の一大転機であることは確かで、だからこそその療法選択にはSDMの機会が設けられ、腎代替療法専門指導士の介入が推奨されています。一方、その際の腎臓内科医と透析医とのコミュニケーションは十分といえるでしょうか？治療や生活の変化に関する医学的な側面の説明はどちらの分担でしょうか？例えば「お酒は飲めるのでしょうか？」という質問（時々いただきます）が、どちらがどのように回答すべきでしょうか？実は保存期から透析期へのCKD移行医療は古くて新しい課題なのです。そこでこのトピックについて十分な議論の機会をつくらうということで、日本腎臓学会と日本透析医学会の合同企画運営委員会企画として、本年6月開催の両学会の学術総会でCKD移行医療に関するシンポジウムが開催されました。これまでにあるようでなかったシンポジウムでしたので、多くの方にご参加いただきました。シンポジウムを通じて、多くの有益な意見や経験が共有され、新たな知見が得られました。今後も引き続き、この重要なトピックについての研究と実践を深めていくことを期待しています。

2024年7月吉日

15th Saitama Society For
Dialysis Access

Abstract 2024

第15回埼玉アクセス研究会学術集会

- 会 長：中川 芳彦 (関越病院)
- 副会長：四宮 敏彦 (大宮中央総合病院)
- 日 時：2024年8月4日(日)
- 会 場：ウェスタ川越 多目的ホール
- 開催形式：ハイブリッド形式(現地参加とWEB参加)

共催：埼玉透析医学会

事務局：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田1981番地
埼玉医科大学総合医療センター 血液浄化センター
TEL：049-228-3523 / FAX：049-226-6822
E-mail：info@saitama-va.net

会場案内図



ウエスタ川越 〒350-1124 埼玉県川越市新宿町1-17-17

- JR川越線、東武東上線「川越駅」西口より徒歩約5分
- 西武新宿線「本川越駅」より徒歩約15分

会場見取図

(ウエスタ川越1F多目的ホール)



多目的ホール

参加者へのご案内とお願い

■参加者の皆様へ

1. 会 期 2024年8月4日(日)
2. 会 場 ウェスタ川越 多目的ホールB・C・D
(埼玉県川越市新宿町1-17-17)
3. 開場・受付開始時間 8時45分～
4. 開演時間 9時00分
5. 参加費 1,000円

本研究会への参加は、埼玉アクセス研究会 HP からの[オンライン参加登録](#)のみとなります。
なお、現地では現金での参加受付は行っておりませんので、参加される方は事前にオンライン参加登録をお済ませください。

6. 参加方法は、『現地参加』と『WEB参加』がございます。
7. 一般演題の中から厳正な審査を行い、Best Presentation に対して表彰を行います。
8. 5学会合同認定“透析療法指導看護師”の受験資格ポイント取得対象会として認定されています。

■受 付

場 所：ウェスタ川越 1階 第1、2、3会議室

時 間：8時45分～

受付にて、ランチョン共催セミナーの整理券を配布いたします。

■企業展示

場 所：ウェスタ川越 1階 第1、2、3会議室

時 間：9時00分～

■現地参加の皆様へ

1. 発言される際はマイクを使用し、最初に所属と氏名を明らかにしてください。限られた時間内に討論ができるように、予めマイクの前にお並びください。
2. 携帯電話のご使用はロビーとし、会場内ではマナーモードの設定をお願いします。
3. クローク、貴重品のお預かりはできませんのでご了承ください。
4. 会場内の喫煙は禁止されておりますのでご了承ください。
5. 会場内での写真撮影、録音、VTR 収録は禁止いたします。

■ WEB 参加の皆様へ

1. 視聴には Web 会議システム Zoom を利用します。初めて Zoom を使う方は事前に Zoom アプリのダウンロードをお願いします。
2. Zoom 公式サイト URL にアクセスし、「ミーティング用 Zoom クライアント」からアプリをダウンロードしてください。
3. セッションの動画や写真の撮影、Zoom URL や ID などの無断転載は禁止いたします。
4. 質問をする場合は、「Q & A」機能を使用してください。
5. 時間の都合上、全ての方のご質問をお受けできない場合がございます。予めご了承ください。

■ 司会・座長・コメンテーターの先生方へ

1. ご担当セッションの開始予定時間 20 分前までには、参加受付をお済ませください。
2. 第15回埼玉アクセス研究会では、『現地参加』と『WEB 参加』がございますが、司会・座長・コメンテーターの方は原則現地参加でお願いいたします。
3. セッション開始 15 分前には、会場担当者へ到着していることのお声掛けください。
4. 限られた時間内で発表が円滑に進むよう、質問・討論を希望される参加者がいる場合は、司会者が指名し質問・討論が速やかに行われるようご指示ください。
5. Zoom からの質問に関しては、発表毎に Zoom のチャットを確認して、質問があった際は座長の先生から紹介してください。

■ 演者の先生方へ

1. 一般演題は発表 7 分、討論 3 分とさせていただきます。
2. 第15回埼玉アクセス研究会では、『現地参加』と『WEB 参加』がございますが、発表者は原則現地参加でお願いいたします。
3. セッション開始 15 分前までに次演者席にお着きください。
4. 発表方法はデジタルプレゼンテーション(パソコン発表)のみとします。発表時間 30 分前までに USB のメディアを持参し、PC 受付でご確認ください。なおメディアは USB フラッシュメモリに限ります。それ以外のメディアはご遠慮ください。
5. 動画をご使用になる場合はご自身の PC 本体のご持参を推奨いたします。Macintosh をご使用の場合は、PC 本体を必ずご持参ください。
6. ご自身の PC をご使用になる場合、本体を Wi-Fi に接続して、Zoom よりご発表いただきます。Wi-Fi、Zoom が使用可能な PC をご持参ください。また、AC アダプターを必ずご持参ください。バッテリーでの使用はトラブルの原因になります。
7. プレゼンテーションは Windows PowerPoint(データ作成のアプリケーションソフトは Windows PowerPoint2013 以降のバージョンが使用できます)での作成に限らせていただきます(Mac の Keynote でスライドを作成した場合は、スライドが正しく表示されない可能性があります)。

8. フォントはOS標準で装備されているものを使用してください。一部 office365のみで使える特殊なアニメーションはご使用できません。PC受付にて動作確認をお願いいたします。
9. Windows PowerPointにて作成したスライドは、スライドのサイズ設定を(16:9)に設定してください。
10. スライドの枚数制限はありませんが、発表時間を厳守してください。
11. 埼玉透析医学会記録集に掲載する原稿を期日までに埼玉透析医学会事務局へご提出ください(発表論文原稿執筆要項についての案内を参照)。
12. 当日の発表時に利益相反についての情報開示をお願いいたします。発表の最初か最後に利益相反自己申告に関するスライドを加えてください。
13. 閉会挨拶時に Best Presentation の表彰を行いますので、ご参加をお願いいたします。
14. サーバーにコピーさせていただいたデータは、本会終了後に責任を持って完全に消去いたします。

■発表につきまして

演台にセットされているキーボード、マウスをご使用ください。会場では、演者ご自身で演台上の機材を操作していただきます。お預かりしたデータの1枚目のページをオペレーターが出しますので2枚目からはご自身で送り・戻しの操作をお願いいたします。
 また、円滑な進行の妨げとなるため、発表者ツールの使用はお断りさせていただいております。

「利益相反自己申告に関するスライド例」

<p>申告すべきCOI状態がない場合</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">第15回埼玉アクセス研究会 COI開示</p> <p style="text-align: center;">筆頭発表者名: ○○ ○○</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。</p> </div>	<p>申告すべきCOI状態がある場合</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">第15回埼玉アクセス研究会 COI開示</p> <p style="text-align: center;">筆頭発表者名: ○○ ○○</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などとして、</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>①顧問:</td><td style="text-align: right;">なし</td></tr> <tr><td>②株保有・利益:</td><td style="text-align: right;">なし</td></tr> <tr><td>③特許権使用料:</td><td style="text-align: right;">なし</td></tr> <tr><td>④講演料:</td><td style="text-align: right;">なし</td></tr> <tr><td>⑤原稿料:</td><td style="text-align: right;">なし</td></tr> <tr><td>⑥受託研究・共同研究費:</td><td style="text-align: right;">○○製薬</td></tr> <tr><td>⑦奨学寄附金:</td><td style="text-align: right;">○○製薬</td></tr> <tr><td>⑧寄附講座所属:</td><td style="text-align: right;">あり(○○製薬)</td></tr> <tr><td>⑨企業所属研究者:</td><td style="text-align: right;">あり(○○製薬)</td></tr> <tr><td>⑩贈答品などの報酬:</td><td style="text-align: right;">なし</td></tr> </table> </div>	①顧問:	なし	②株保有・利益:	なし	③特許権使用料:	なし	④講演料:	なし	⑤原稿料:	なし	⑥受託研究・共同研究費:	○○製薬	⑦奨学寄附金:	○○製薬	⑧寄附講座所属:	あり(○○製薬)	⑨企業所属研究者:	あり(○○製薬)	⑩贈答品などの報酬:	なし
①顧問:	なし																				
②株保有・利益:	なし																				
③特許権使用料:	なし																				
④講演料:	なし																				
⑤原稿料:	なし																				
⑥受託研究・共同研究費:	○○製薬																				
⑦奨学寄附金:	○○製薬																				
⑧寄附講座所属:	あり(○○製薬)																				
⑨企業所属研究者:	あり(○○製薬)																				
⑩贈答品などの報酬:	なし																				

発表論文原稿執筆要項について

本学術大会でご発表された内容は、埼玉透析医学会会誌(第13巻2号)掲載用の論文として収載して頂くをお願いしております。下記の会誌投稿に関する内規に承諾していただき、2024年9月14日(土)までに下記送付先までE-mail または CD で提出をお願いいたします。

ベーシック講座・共催セミナー

ご担当頂いた講演について総説としてご執筆賜りたくお願いいたします。

一般演題

ご発表頂いた演題について発表論文としてご投稿くださいますようお願いいたします。

会誌投稿に関する内規

埼玉透析医学会(以下「当会」という)は、「当会」が発刊する「会誌」への投稿に関し、以下のとおり定める。

1. 投稿の種類

「当会」が発刊する「会誌」への投稿は、①埼玉透析医学会および埼玉アクセス研究会の学術集会で発表されたものから、発表論文として論文集に掲載するために投稿するものと、②会誌編集委員会の企画により、投稿を依頼されたものとする。なお、論文は透析医療に関するもの、会員に対し有益な内容で、他誌に発表されていないもの(抄録を除く)あるいは投稿中でないものに限るものとする。また、個人情報保護の観点から容易に個人が特定されないように十分に配慮しなければならない。利益相反がある場合は記載すること。

2. 投稿資格

論文の筆頭著者は原則として「埼玉透析医学会の施設会員」とする。

3. 原稿の作成

- 1) 原則としてパーソナルコンピュータを使用し、文字のみの本文を Word または Text のファイル形式で作成する。
- 2) 文字数は図表を含めず総説は8,000字程度、発表論文は4,000字程度を目安に作成し、本文には頁をつける。
- 3) ①図表は Word、Excel、Power Point、JPEG、GIF で作成する(写真などは鮮明なものを使用する)。
②掲載は原則的に白黒印刷であるため、カラーで提出される場合は印刷時のコントラストに配慮する。
③図表は本文とは別のファイルを用意し、図表の下に番号を記し、本文中に挿入位置を明示する。
他誌書から図表を転載利用する場合(自筆も同様)は、著作者ならびに出版元の許諾が必要となる。

4) 文献は主要なもののみ10点以内とし、文中の引用箇所に、半角上付で引用順に1), 2), 3)～5)のように記載し、著者4名以上の場合は“…，他”“…，et al”とする。

①雑誌の場合 著者名：論文名. 雑誌名 巻：頁(初め-終わり)，西暦年

②書籍の場合 著者名：論文名. 書籍名(編者名)，頁(初め-終わり)，出版社名，所在地，西暦年

③誌名を略記する場合 出版雑誌の定める略名を使用し、また外国のものはIndex Medicusの略称に準じる。

④「孫引き」を避け、必ず原典にさかのぼって出処を明示する。

4. 論文の体裁

表題頁、本文、文献、図表の順にまとめる。

(ア)表題頁には①題名、②著者および共同著者(全員フリガナを明記)、③所属施設名、④連絡先(筆頭者の所属、郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、電子メールアドレス)を記載する。

(イ)本文はI. 緒言(はじめに、まえがき)、II. 研究方法(対象、症例、方法)、III. 研究結果(結果)、IV. 考察、V. 結論(結語、まとめ、おわりに)の順序で記述する。

5. 著作権

学会誌の掲載内容(インターネット上で公開する電子媒体を含む)の著作権は、「当会」が保有するものとする。また投稿者は、投稿内容が受理され学会誌に掲載された場合、学会誌掲載内容がインターネット上で公開されることについて了解しているものとし、これによる使用料は「当会」に帰属するものとする。

6. 校 正

会誌編集委員の編集後、著者校正を依頼する。

7. 原稿締切

2024年9月14日(土)必着とする。

8. 原稿の送付先

埼玉透析医学会 事務局

埼玉医科大学病院 腎臓内科

〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38

TEL：049-276-1611 FAX：049-295-7338

URL：http://www.ssdt.jp/ E-mail：jinnai@saitama-med.ac.jp

※原則として送付いただいたメディアは返却いたしませんのでご了解ください。

第15回埼玉アクセス研究会学術集会 (共催：埼玉透析医学会) プログラム

2024年8月4日回

受付：8時45分～

場所：ウェスタ川越 (多目的ホール B・C・D)

開会の挨拶 9:00～9:10

埼玉透析医学会 会長 岡田 浩一
埼玉アクセス研究会 会長 中川 芳彦

一般演題1 9:10～9:50

座長：北野 泰佑 (自治医科大学附属さいたま医療センター)
村井 則之 (蓮田一心会病院)

- 1-1 スチール症候群による手指壊死に対して術後に高気圧酸素治療を実施した一例
大宮中央総合病院 平井 達朗 他
- 1-2 臨床工学技士のシャント血管穿刺技術の改善を求めて
上尾中央総合病院 服部 伸吾 他
- 1-3 トンネラーを用いた上腕動脈表在化法
蓮田一心会病院 矢島 世位太 他
- 1-4 当院におけるスタッフ向けエコー下穿刺教育
望星病院 小藤 志保 他

企業共催セミナー I 9:55～10:20

(共催：株式会社メディコン)

座長：近藤 立雄 (埼玉医科大学病院)

『「長期留置カテーテル」 カテーテル選択・留置～管理』

演者：清水 泰輔 (埼玉医科大学総合医療センター)

企業共催セミナー II 10:20～10:45

(共催：株式会社カネカメディックス)

座長：伊藤 智章(埼玉メディカルセンター 腎臓内科)

『PTAバルーン「YOROI」』

演者：清澄 理恵(さやま腎クリニック 人工透析内科)

シンポジウム I 10:50～12:10

(共催：ボストン・サイエンティフィックジャパン株式会社)

『不適切にもほどがある？ AI時代のVA治療』

座長：中川 芳彦(関越病院)

四宮 敏彦(大宮中央総合病院)

S1-1 VAIVT 施行時エコー操作に関して気を付けているところ

友愛日進クリニック 下山 博史

S1-2 血栓閉塞に対する戦略 COVID19～ up to date

大宮中央総合病院 四宮 敏彦 他

S1-3 経皮的血管内治療を見据えた血管アクセス再建手術について

望星病院 浅野 学

S1-4 シェント導出静脈、表在化動脈の穿刺部に痙攣が形成された場合の種々の対応法

関越病院 中川 芳彦 他

ランチョン共催セミナー 12:25～13:15

(共催：日本メドトロニック株式会社)

座長：黒澤 明(医療法人さくら さくら記念病院)

『DCB (IN.PACT AV) を正しく理解し、上手に使う！』

演者：瀬尾 明彦(医療法人瑞友会 ふじみ野腎クリニック)

下山 博史(医療法人博友会 友愛日進クリニック)

特別講演 13:25～14:15

(共催：協和キリン株式会社)

座長：小川 智也(埼玉医科大学総合医療センター 腎・高血圧内科)

『超音波ガイド下VAIVTのススメとフォゼベルによるリン管理の実際』

演者：佐藤 暢(桃仁会病院)

企業共催セミナーⅢ 14:15～14:40

(共催：日本ゴア合同会社)

座長：志熊 聡美(秀和総合病院 腎臓内科)

『ステントグラフトの使用経験と注意点』

演者：橘 翔平(大宮中央総合病院 腎臓内科)

一般演題2 14:45～15:15

座長：東原 宣之(イムス富士見総合病院)

三木 敦史(獨協医科大学埼玉医療センター)

O2-1 5mm径バルーンから6mm径バルーンへのサイズアップによる
VAIVT 間隔への影響

大宮中央総合病院 橘 翔平 他

O2-2 内シャント静脈高血圧症(ソアサム症候群)に対する
内シャント修復術の試み

関越病院 中川 芳彦 他

O2-3 透析針抜針後、穿刺孔からの持続する滲出性出血に対して
自己静脈グラフトを利用しバイパス修復した高齢透析患者の一例

関越腎クリニック 村上 徹

企業共催セミナーⅣ 15:20～15:45

(共催：メディキット株式会社)

座長：高津 智行(上尾中央医科グループ協議会 経営管理本部 クリニック事業部)

『異なる透析用留置針による穿刺アプローチの工学的評価』

演者：塚本 功(埼玉医科大学国際医療センター ME サービス部)

シンポジウムⅡ 15:45～17:05

『シャント PTA に対するコメディカルの介入』

座長：吉本 裕(草加市立病院)
平原 浩(南古谷クリニック)

S2-1 PTA におけるコメディカルの関わり方

埼玉医科大学病院 近藤 立雄

S2-2 シャント PTA 業務における臨床工学技士介入

さやま腎クリニック 田中 佑佳 他

S2-3 当院における「VA 医療への携わり方」の現状
～透析患者ファーストの治療とケアを目指す～

埼玉医科大学総合医療センター 佐伯 聡美

S2-4 シャント PTA 治療における当院手術室看護師の役割

埼玉草加病院 渡邊 健太郎 他

表彰式・閉会式 17:05～17:15

表彰式 埼玉アクセス研究会 会 長 中川 芳彦

閉会式 埼玉アクセス研究会 副会長 四宮 敏彦

特別講演

一般演題

編集後記(第13巻 第1号)

今年で第15回を迎えた埼玉アクセス研究会ですが、ウェスタ川越を会場に使用するのは初めてとなります。働き方改革などが提唱される中、この会が継続していけるよう事務局の負担軽減を目的に変更させていただきました。会場は多目的ホールBCDをメイン会場とし、第1～3会議室を企業展示としました。また、COVID-19の影響下で考えられ始めたZoomを用いたウェビナー開催形式ですが、今年もZoomを併用した現地開催としました。参加する皆さまがお好みで参加方法を選べるのも時代の流れかと思います。お出かけが難しく、少しでも時間が取れる方には、ぜひウェブからの参加をお願いします。そして、埼玉地域の先進的な取り組みを共有していただければと思います。今後もウェブを継続すべきかどうか、主催側も検討中ですので、ぜひご意見などを事務局までお寄せいただければ幸いです。皆様にとって有益な会になるよう、精一杯取り組んでまいります。

埼玉アクセス研究会 事務局
埼玉医科大学総合医療センター 臨床工学部

金山 由紀

埼玉透析医学会 会誌

発行日：2024年7月17日

発行：埼玉透析医学会

発行人：岡田 浩一

編集：埼玉透析医学会 事務局

事務局：埼玉医科大学病院 腎臓内科

〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38

TEL：049-276-1611 FAX：049-295-7338

URL：<http://www.ssdt.jp/>

E-mail：jinnai@saitama-med.ac.jp

編集責任者：友利 浩司

編集委員：小川 智也、金山 由紀、佐々木 裕介、

吉田 雅毅、鳴海 敏行、伊佐 慎太郎

出版：株式会社セカンド

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F

TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025

定価：2,000円＋税